

平成27年度全国及び岡山県学力・学習状況調査 結果と今後の取組について【学校版】  
津山市立鶴山中学校

教育目標(めざす児童生徒像)

自ら考え正しく判断し行動できる生徒  
夢や目標をもち進んで学習する生徒  
仲間を信頼し感謝の気持ちが表現できる生徒

今年度の指導の重点

規範意識の向上、基本的な生活習慣の定着を図る。  
学習規律の確立と学習意欲の向上を図る。  
家庭学習・授業改善を推進する。  
学習機会の拡充を図る。  
保護者・地域との連携・小中の連携した教育活動を推進する。

調査結果について(調査結果において明らかになったこと)

【学力状況調査の結果】

全国

国語(A, B)、数学(A, B)、理科共に、全国、県平均と比べると正答率は低い。  
国語(A, B)、数学(A, B)については、全国、県平均との差が昨年度より縮まった。  
理科については、全国平均との差が前回より少し広がった。  
国語の「手紙の書き方」は、全国平均を上回ったが(本校:67.5、全国:58.2)が、「話すこと・聞くこと」の領域(本校:69.1、全国:79.7)に課題がある。  
数学の「連続する3つの整数の和が中央の整数の3倍になる」の数と式の説明は、全国平均を上回った(本校:53.1、全国:43.1)が、「図形」の領域(本校:56.9、全国:63.4)に課題がある。

県

国語、社会の正答率は県平均とほぼ同じだが、数学、理科の正答率は県平均を下回った。  
国語の「漢字の書き」(本校:58.8、県54.1)、社会の「世界、日本の国土」(本校:57.5、県:53.1)、理科の「物のとけ方」(本校:60.2、県:59.3)などの分野は、県平均を上回った。  
社会の「国の政治」(本校:37.5、県:48.6)、数学の「平面図形の面積」(本校:48.8、県:59.8)、理科の「月と太陽」(本校:59.0、県:63.8)などの分野は、県平均を下回った。

【学習状況調査の結果】

平日、テレビやDVDを観る時間が2時間以上の生徒の割合が6割以上である。  
平日、ゲーム、通話やメール(携帯電話等)をする時間がそれぞれ2時間以上の生徒が約4割である。  
家庭学習時間(塾を含む)が、2時間以上の生徒の割合は、平日では県とほぼ同じだが、土日は下回っている。  
平日、読書時間が30分以上の生徒の割合は、県より低い。学校図書室、地域の図書館を利用する割合は高い。  
また、新聞を読む生徒の割合は、県と同程度である。  
「あいさつ」の項目は、県の割合より高い。  
「友達の前で自分の考えや意見を発表することが得意」、「友達の話や意見を最後まで聞く」、「将来の夢や目標を持っている」などの項目は、県の割合より高い。  
「人の気持ちが分かる人間になりたい」、「いじめは絶対にいけない」と肯定的に答える生徒の割合が高いが、「学校の規則を守る」の割合は、県に比べて少し低い。  
「みんなで協力してやり遂げ、うれしかった」、「地域の行事に参加している」の割合は、県より高い。

成果と課題

国語、数学、理科ともに活用型の問題を苦手としており、特に記述式の問題に対して無回答率が高い。  
各教科の勉強は大切だと思う生徒の割合は高く、授業でわからない問題をそのままにしておくという生徒の割合も低い。(先生に尋ねるの割合が高い。)  
家で宿題はしている生徒の割合は高いが、それ以外の学習時間(予習・復習)及び自分で計画を立てて勉強することが課題である。  
授業はじめての「目標(めあて・ねらい)が示された」、授業終わりの「振り返る活動が行われた」の項目の割合が高く、授業改善の取り組みの成果である。  
「自分にはよいところがある」の項目で、肯定的な生徒の割合が高い。  
「人の気持ち」、「いじめ」についての項目では、肯定的な生徒の割合が高いが、「学校の規則を守る」の割合が少し低く課題である。

課題に対応した改善方法

授業はじめての「目標(めあて・ねらい)」の提示、授業終わりの「振り返る活動」を意識し、基礎・基本の定着させる。  
授業の中に、自分の考える場面、考えを伝え合う場面などを設定し、思考力・表現力を養う言語活動を充実させる。  
数学では、習熟度少人数指導を実施し、コースに合わせた適応問題を単元ごとに位置づける。  
テスト週間の「質問教室」、長期休業中の「補充学習」を実施し、学習習慣をつける。  
3年生対象に、週1回の放課後学習及び月2回の土曜日学習を地域ボランティアと連携して実施し、学習習慣をつける。  
土台となる「集団づくり」を大切にし、道徳、学級活動、学校行事を通して規範意識の向上、言語活動の充実とリーダーを育成する。

取組の検証方法及び検証時期

中2学力定着状況たしかめテストの実施(11月)  
学校評価アンケート(生徒・保護者)の実施(11月)  
授業自己評価シート、小テストなどの活用(授業ごと)  
上記の結果を受けて、改善方法の見直しを図る。

平成28年度津山市達成目標に対する具体的な目標(数値目標等)

国語、数学、理科の平均正答率で県平均を上回る。  
各教科の「授業がわかる」と回答する生徒の割合を県平均以上にする。  
家庭学習が1時間以上の生徒の割合を70%以上にする。  
「自分にはよいところがある」、「将来の夢や目標がある」と回答する生徒の割合を75%以上にする。